

大好き☆出雲!

～発見! 発信!
とっておきの 場所・人・もの～

おんぼら出雲国風土記発行

出雲に住む人には「自信をもって出雲を語ってもらえるように」、出雲に来る人には「出雲に住んでみたい」と思ってもらえるように、出雲の真のブランド化をめざし、「大好き☆出雲!倶楽部」(出雲ブランド化推進市民委員会と市職員有志によるプロジェクトチーム)を中心に、さまざまな分野の出雲らしい魅力や地域資源を発掘・再認識し、磨き高め、内外に発信していこうとする取組を展開しています。

このたび、活動5年をひとつの節目とし、国内で唯一、完本状態で残っている『出雲国風土記』に今の出雲市を当てはめ、1300年前の出雲市を知り、現代と比較することで、「古代から脈々と引き継がれてきた出雲の良さ」と「新たに育まれた出雲の良さ」を確認し、「出雲愛」が深まる情報発信に取り組もうと、『おんぼら出雲国風土記』としてまとめました。

8月18日には完成報告会を行い、出雲ブランド化推進市民委員会 平田明子委員長から長岡市長に完成本が手渡されました。市長は、「5年間の活動の集大成として取り組まれた『おんぼら出雲国風土記』は、まさに出雲の魅力再発見、出雲を知ってもらうための格好の教材になるものと思います。様々な場面で有効活用されていくことを期待します。」と語りました。



完成本を市長に手渡す平田委員長

風土記編さんを終えて(大好き☆出雲!倶楽部の思い)

決して十分な編さんにはなっていません。

改めて、20年かけて編さんされた「重み」を感じました。

今までに、多くの学識者によって研究されてきた『出雲国風土記』ですが、大好き☆出雲!倶楽部の中でも難しいというイメージを感じていた人が多くいました。

でも、違います。『出雲国風土記』は、今でいう市町村を紹介するガイドブックみたいなものと思っていいのではないかと感じました。そんな難しいことなんてひとつも書いてありません。1300年前の出雲の国のありさまが記載されているだけなんです。

この編さんがきっかけとなって、市民目線で、もっと『出雲国風土記』を身近に感じてもらい、知ってみたいという動きが広がり深まっていくことを期待しています。

1300年前の出雲が今の出雲にしっかりと引き継がれていることを知ることにより「出雲」への愛着が高まるのではないのでしょうか。そしてそれが「大好き☆出雲!」の思いにつながるようになります。



昨年10月の平田地域の神社取材の様子

これからの活動について(メンバーの意見)

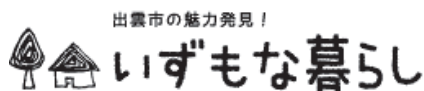
『おんぼら出雲国風土記』をさらに深めていくため、テーマを絞った調査などを継続していきたいと思っています。

編さんした冊子をもとに、子どもたちに知ってもらい、興味を持つきっかけづくりになる取組ができたらと思っています。

5年間の活動を通して、「大好き☆出雲!」のロゴを街中で見かけるようになりました。活動を続けていくことが重要だと思っています。

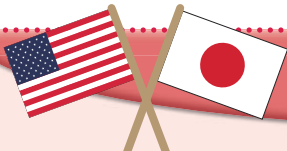


『おんぼら出雲国風土記』は
ホームページ「いずもな暮らし」内で公開しています。
ぜひご覧ください。



<http://izumonakurashi.jp/>





国際交流のひろば

vol.10

ニューヨークから出雲へ

アメリカのニューヨーク市出身のアレキサンダー・チェンです。アレックスと呼んでください。

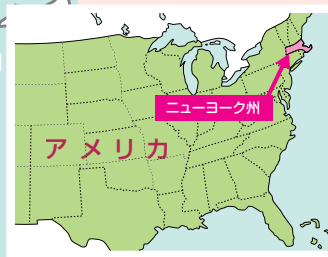
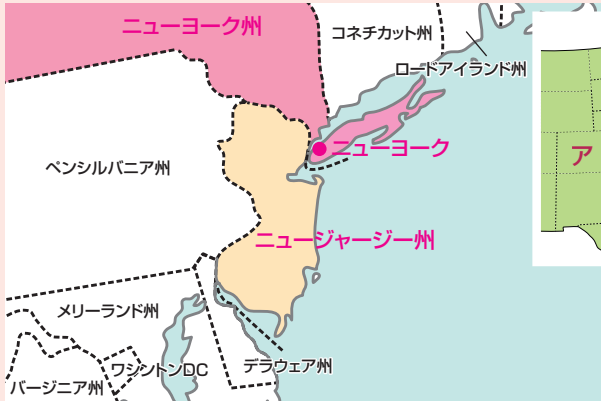
私の両親は、台湾からアメリカに移住しました。アメリカで生まれ育った私は、台湾系アメリカ人です。母国語は英語ですが、両親と中国語で話をするので、日常会話程度の中国語はわかります。

大学するとき、日本語を学んで、半年ぐらい京都に留学

はじめまして!
国際交流員のアレックスです。
7月29日に着任しました。
よろしくお願いします。



しました。京都で多くの親切な人たちに出会って、日本語のレベルを上達させてもらえました。その時から日本人と文化が大好きになって、どうしても戻りたいと思っていました。今は出雲市の国際交流員として市役所で仕事をしています。



私は、ニューヨークの隣のニュージャージー州に住んでいました。ニューヨークはアメリカの代表的な都会ですが、ニュージャージーは、それほど世界中の人に知られていなくて、静かな田舎のイメージが強いんです。アメリカのにぎやかなところと、静かなところを両方体験したことがあるので、アメリカ人のさまざまなライフスタイルについて話すことができます。出雲の人と出会って、日本文化を勉強しながら、アメリカのことをたくさん紹介したいと思います。

国際交流員は、国際理解教育の場などに積極的に参加し、地域の国際化のために活動しています。
おたずね／国際交流室 ☎21-6576

となりの

ハコトツッキー

飼育下の繁殖状況について

今年、出雲市トキ分散飼育センターでは24個の産卵がありました。しかし、有精卵と確認できたのはわずか6個だけでした。この6個の卵から5羽のトキがふ化しましたが、そのうち2羽が11日齢、12日齢で死亡し、巣立つことができたのは3羽だけでした。巣立ったヒナが3羽というのはこれまでに一番少ない羽数です。

また、自然ふ化・自然育雛を基本として繁殖に取り組みましたが、巣立った3羽の内訳は、自然ふ化・人工育雛が1羽、人工ふ化・自然育雛が2羽でした。

平成27年の出雲市を含む全国のトキ飼育地のふ化・巣立ち羽数は下表のとおりでした。

	産卵数(個)	ふ化(羽)	巣立ち(羽)	産卵数に対する巣立ちの割合
全国	188	38	32	17.0%
出雲	24	5	3	12.5%



顔がまだ黄色い今年巣立った幼鳥

昨年、全国のふ化数61羽、巣立ち数54羽と比べると、今年はふ化・巣立ち羽数が少なかった年でした。

第18回



おたずね／出雲市
トキ分散飼育センター ☎21-1350

次回は、トキのくちばしについて紹介します。